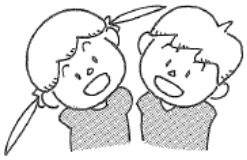
進行案

ねらい

〇親はつい子どもの不得意をなくそうと、その部分を責めるなど悪いことのように言ってしまいがちではないでしょうか。交流の中で、子どもたちが自分に自信を持って成長できるよう、親としてのサポートのあり方をもち帰っていただきましょう。
〇一人ひとり違う子どもを認め、よいところを伸ばすための考え方や声かけの方法を、具体的に話し合ってヒントをつかんでいただきましょう。

時間	内　　容	主　な　活　動	留　意　点
例： 60 分 00:10	**はじめのことば**	「みなさん、こんにちは。ご多用のところ参加いただきありがとうございます。今日は、お子さんの個性について、一緒に考えてみたいと思います。司会の〇〇です。よろしくお願いします。」	◇笑顔で親しみやすい言動に努めましょう。 小道具として「お茶」やちょっとした「お菓子」があるとやわらかい雰囲気を演出し、話も弾みやすくなります。
	３つの約束確認	「この会は、ともに楽しく学び合い、みなさんで作り上げていくものです。誰もが『参加してよかった。』と思える会にするために、協力していただきたい３つの約束があります。」 ① 参加 「積極的に話し合いに参加しましょう。全員が参加できるように、協力をお願いします。」 ② 尊重 「お互いの意見や感じ方を尊重しましょう。他の参加者の意見を否定したり、自分の考えを押し付けたりしないようにしましょう。話したくないことは、パスしてもかまいません。」 ③ 守秘 「子育ての交流ですから、個人情報に関わる内容も出てきます。同じ時間を共有する者同士の信頼関係のうえで行われる交流です。決して口外しないようにしましょう。」	◇会を成功させるために、学習を始める前に参加者全員で「３つの約束」を確認しましょう。 ◇一人が話し過ぎないように、時間配分を考えながら、全員に話す機会を回すようにしましょう。 ◇「相手の目を見てうなずきながら聞くとか、相槌を打ちながら聞くなどすると、話す人も嬉しいですね。」と具体的な聞き方を伝えると分かりやすいでしょう。 ◇子育て中の親として、家族に関わることも話題になりますが、自由に話してもらうためにも、信頼関係が大切であることを理解してもらいましょう。
	アイスブレイク	「それでは、みなさん、少し緊張していらっしゃるようですので、心と体をほぐしリラックスしましょう。」 たい・タコどっち？ 「向かい合わせになり、たい役、タコ役を決めます。お互いの左手で握手するように手のひらを合わせます。進行役は、「た～た～た～…。」のあと、「たい」か「タコ」と言います。「たい」と言ったら、「たい」の人が右手で相手の左手の甲をたたき、「タコ」の人はすばやく左手をあげて、たたかれないように逃げます。」	◇アイスブレイクとは、参加者の不安や緊張を氷にたとえ、その氷（不安や緊張）を溶かすという意味をもった活動です。 ◇15ページ「7　アイスブレイクに活用できる簡単なゲーム」⑯参照。
00:40	**ワークショップ**	「それでは、緊張もほぐれたところで、お配りしたプリントの『こんなことありませんか』をそれぞれお読みください。」	◇「こんなことありませんか」については、詳細な説明はせずに、読んでいただくとよいでしょう。

		グループディスカッション **<ワーク１>** 「みなさん、読み終えましたら、順番に、わが子の気になることを話してください。そのことについて、両隣の方は、違う見方でよさとして、話してあげましょう。」 ・動作が遅い→慎重である、丁寧である ・すぐに泣く→優しい、感情移入できる など **<ワーク２>** 「みなさん、毎日お子さんのことを気にかけていらっしゃる様子が伝わってきました。それでは、日頃お子さんのちょっと気になるところについて、よさに変えていけるような声かけや、親の考えの切り替え方などを交流しましょう。」 ・食事に時間がかかる。→よくかんでいるんだね。でも、バスに置いていかれちゃうよ。 など	◇自由に家庭の様子を話せるように、進行役の方の困っていることや悩んでいることを話すとよいでしょう。 ◇どんな話が出されているか、簡単にメモをとるとよいですね。 ◇グループごとに交流する際、「自分にもできそう。」、「よい方法だなあ。」などと思った意見は、ワークシートの「いいね！」の欄にメモを取るとよいことを、事前に伝えておきましょう。 ◇出された意見をまとめたり、結論を出したりする必要はありません。自分自身、こんなヒントをもらったというように、同じ立場で話すとよいでしょう。
00:10	**ふりかえり** **おわりのことば**	「いかがでしたか。いろいろな工夫があって、今日から生かせそうですね。」 「私も気になるところばかり目について、責めるような言い方をしていたなあと反省しました。今日みなさんの意見にもあったように接していたらよかったんだなあと思いました。」 「みなさん、今日参加されていかがでしたか。毎日、お子さんを目の前にして奮闘していらっしゃる皆様方にとって、少しでも気持ちが軽くなったり、何かヒントを得たりしていただけたならうれしいです。お話を伺っていて、本当にみなさんいろいろ工夫していらっしゃるなあと思いました。これからも、お困りのことがあれば、一人で悩まずにこのような機会を活用し、情報交換をしていきましょう。」 「今日の交流を生かして、お子さんのいいところみつけをしてみませんか？資料としてカードが付いています。ぜひ、お子さんと一緒に取り組んでみてください。	◇資料として掲載してある絵本を読み聞かせするのもよいでしょう。 ◇最後は、参加者の日頃のがんばりを認めることのみとし、指示やアドバイスをすることは避けましょう。  ◇在宅取組カード：１２９ページ「ミナモぬりえ　いいところみつけ」カードを参照